

【小学校 低学年】

新規	書名	本の紹介
	1 あしのうらのはなし	馬の足の裏って、どうなのか？ ゴリラのは？ 動物から、人間から、足の裏が総登場。またまた、絵本の中で遊びながら足の裏の進化と機能を考えていく。
○	2 あのと き すきになったよ	あの子となんで仲良くなったんだっけ？ ちっとも好きじゃなかったのに、好きになったのはなんでかなあ…。偏見で「きらい」と思っていたクラスメートの内側に触れ、くもりのない目で「すき」になるまでの少女たちの心の交信を描きます。
○	3 うまかた やまんば	峠で山姥に追いかけられた馬方は、魚の荷から馬まで、すっかり食べられてしまいます。さて、馬方の仕返しは……。はらはら、どきどきの連続、痛快な昔話絵本です。
	4 エルマーのぼうけん	心優しい少年が空飛ぶ竜の子を助け出す愛と勇気の物語。
	5 からすのぱんやさん	いずみが森のからすのパン屋さんが、おいしい、すてきなパンをどっさり焼くと、店先で大騒動が起こっていく。
	6 じごくのそうべえ	上方落語『地獄八景』を題材とした話。—東西で千に近い落語があるが、スケールの大きさといい、奇想天外な発想といい、類のない大型落語。
	7 14ひきのあさごはん	新しいすみかをもとめて、14ひきのねずみの一家の大移動。野をこえ、谷をわたって、着いたところは…。
	8 スーホの白い馬	貧しいけれど働き者の羊飼いの少年スーホ。草原で拾った白い子馬を一生懸命に育てるのだが…。少年と馬との悲しくも美しい民話。
○	9 だいじょうぶ だいじょうぶ	大きくなるにつれて、こまったことやこわいことが、どんどんふえていくけれど、おじいちゃんのおまじないがあれば大丈夫。「ほら、ぼくらのまわりは、こんなにも楽しいことであふれてる」と教えてくれる本です。
○	10 たんぽぽ	道ばたの花・たんぽぽは、つぼみから花ひらいたあと、綿毛となって空へ舞いあがり、見知らぬ土地に根をおろします。ドラマチックな一生をたどるたんぽぽのすがたを、精緻なタッチで描いた絵本です。

新規		書名	本の紹介
○	11	でんしゃにのったよ	男の子が、おかあさんと一緒にローカル線や新幹線を乗り継いで、東京のいとこの家に行く様子を描いた乗り物絵本。親子でたつぷりと電車の旅を味わえます。車両は大井川鉄道で以前に使われていた車両など、それぞれにモデルがあります。
	12	ともだちや	ある日、キツネは「友だち屋さん」を始めることを思いついた。1時間100円で友だちになってあげる。森で一番のさびしんぼうのキツネは友だちを上手に作れるのか。
	13	にじいろのさかな	虹色に輝く鱗を持つ世界で一番美しい魚。でもひとりぼっち。僕はこんなにきれいなのに、どうして誰も好きになってくれないのか たこのおばあさんが教えてくれたその悩みの解決法は……。
	14	はちうえはぼくにまかせて	夏休みに近所の人のお鉢植えの世話を始めたトミー。家中にたくさんの植木鉢があふれ、植物もどんどん大きくなっていく。そこでトミーが考えたのは……トミーのアイデアにみんな大喜び！
	15	はなのすきなうし	むかしスペインの国に、花のすきなフェルジナンドという子牛がいた。ある日、5人の見知らぬ男がやってきて、フェルジナンドをマドリードの闘牛場へ連れていった。
	16	バムとケロのにちようび	犬のバムとかえるのケロは大の仲良し。開くたびに新しい発見がある愉快的な本。
	17	ほんとのおおきき動物園	小さなネズミから大きなゾウまで、動物の顔を実物大の写真で紹介。横に長く開くワイドページでは、首の長いキリンの大きさもわかる。「目の下に長いひげがちらほら」など、写真を見てわかる特徴も掲載。
○	18	めっきらもっきらどおんどん	遊ぶ友だちがみつからないかたは、お宮でへんてこなおばけたちと出会って愉快地遊びますが……。躍動することばと絵が子どもたちを存分に楽しませてくれるファンタジーの絵本です。
○	19	地球のおくりもの	9種類の野生動物の迫力いっぱいの映像を通し、野生動物の生命の輝き伝えています。熱い、そして大切なメッセージが詰まったハイクオリティー、ハイグレードな本物の写真絵本です。
○	20	ゆずちゃん	ゆずちゃんは、おおきなつたらふうせんやさんになるのやて。せかいじゅうの子どもたちに、ふうせんくぼるんやて。阪神・淡路大震災で、かけがえのない命と大きな夢をうばわれた、少女ゆずちゃんのお話です。